



劇場版  
オマケと秘密の島

ONE PIECE

サウンドトラック

From TV animation  
ONE PIECE

## INDEX

01. リゾートアイランド? < M1 >  
 02. オマツリ男爵登場 < M2 >  
 03. Let's 金魚すくい! < M3 > \*(注1)  
 04. 名人ウソップ!? < M4 >  
 05. ギョ!! 超巨大金魚口ザリオ < M5 >  
 06. 沈む… < M5B >  
 07. Let's 輪投げ! < M6 >  
 08. 火を噴く水上バトル!! < M7 >  
 09. チョコマカチエイズ < M8 >  
 10. 気をつけろ < M9 >  
 11. 開け! お助け BOX < M10 >  
 12. ソロVSケロじい < M11 >  
 13. 仰天! 大晩餐会 < M12 >  
 14. Let's 鉄板焼! < M13 >

\*注1: トラック3 (M3) の途中に無音が約10秒ありますが、これは映画のシーンに合わせて作られており、そのまま収録しております。あらかじめご了承下さい。

15. サンジVSコテツ < M14, M15 >  
 16. ナミとムッチー < M16 >  
 17. これが、花!? < M17 >  
 18. 妻や海賊団、崩壊 < M18 >  
 19. Let's 射的…笑えねえ!! < M19 >  
 20. 緑の恐怖 < M20 >  
 21. 怒りに震えて < M21 >  
 22. 思いだけじゃ届かない… < M22 >  
 23. オレもついてるしな! < M23 >  
 24. オレの仲間に手は出させねえ!!! < M24 >  
 25. 想像を絶する死闘 < M25 >  
 26. 絆の一矢 < M26 >  
 27. 優しい誰かが、勇者 < M27 >

作曲・編曲: 田中公平 (01, 06~08, 10~12, 17, 20~22, 26, 27)

丸屋 隆 (02~05, 09, 16, 18, 19)

塚口和彦 (13~15, 23~25)

## STORY

もし、君が——  
 海賊の中の海賊の中の海賊の中ならば——  
 信頼する仲間をつれてこの島に来るがいい。  
 島の名は……オマツリ島!!!!

「偉大なる航路=グランドライン」を走り抜けるゴーイング・メリー号。その時、ルフィが大海原に漂うガラスのビンを発見。ビンの中には、花や宝箱やらムツゴロウやらの絵が楽しげに描かれたオマツリ島の地図が! 地図と一緒に入っていた手紙には、「あなたはグランドライン一億人の中から選ばれた幸運な海賊です」と書かれていた。胡散臭さ爆発の手紙にスッカリ引き気味の仲間たち。だが、ルフィはキラキラと目を輝かせて完全に冒険モード。こうなったら止められない。いざ、オマツリ島へ! 全速前進!!  
 ところが一行が辿り着いたオマツリ島は、すこく地味な島だった。

ガッカリするルフィたち。と突然、ルフィたちの前に、威勢の良い行進曲とともに煌びやかなテーマパークと、頭から葉っぱの生えた海賊コーラス隊が現れた! その中央を割って登場したのは、一際大きな身体で、肩から花を咲かせた不思議な男・オマツリ男爵! 再び目を輝かせるルフィに男爵は言った。「秘密の宝物をやらう。但し、条件付きで・・・」その条件とは、男爵の出ず地獄の試練を乗り越えること! オマツリ島で地獄めぐり!? なにやら楽しげな冒険に完璧魅了されたルフィは、男爵の言う試練に挑戦すると言い出した! ????? 果たして、ルフィたちを待ち受ける試練とは? その先にある秘密の宝物って一体なに! ???



# 本気には本気で応えないとね！作曲:田中公平



## ●オマツリ男爵と秘密の島！

劇場版も6作目、単独上映になってからは3作目。動員も毎年増え続けている。今年は春休みなみナンバー1映画になるぞ！という気合いが、制作当初から例年以上にヒシヒシと伝わってきてましたね。そしてシナリオと絵コンテをもらって、ビビった。今回の映画は、いつもにも増して面白い！奇想天外で、笑えて、人物の振る舞いやセリフが妙で、最後はどっか熱く、いつの間にかもう、作品にめだん中で泣いちゃった感じ。妻や海賊団のキャラも7人みんな立ってるし、ゲストであるオリジナルキャラもとっても重要な部分を担っている。セリフも面白いし、構成も大層バッチリです。さらにそれを描いている絵コンテがすばらしい！コマ割らハミ出したような原作の元氣そのままに、枠からハミ出してるからね。この躍動感で、ストーリーやメッセージが見えてるからコレ。これがまさにエンターテインメントだと感じました。

それで今回のスタッフを見たらね、細田監督（注1）ですよ。細田監督はね、仕事をたことばないんだけど、実は昔からね、優秀な監督がいるなって思っていた人物なんです。「デジモン」の映画（注2）、あれがスゴく良かった。あれを観て細田監督という存在を知ったんですが、衝撃的だったですよ。絵と絵のつなぎのセンスが、他で感じたことのない巧さを感じましたね。すばらしいかった。それで最近「明日のナージャ」のオープニングとエンディングを観て、これもが巧いんですよ。そしたら細田監督で、なるほどなって思ったところだったんです。プロデューサーの清水さんからは「ちょっと変わってヘンな監督なんですけど、何かか付き合ってやって下さい」なんて言われて。ただこちらは「細田監督と仕事できるんだったら、一層力入れてやりましょ」って。それで去年の年末、打ち合わせでお会いして。そしたら監督からも、僕と仕事をたことばないという話も聞いていただいた。だから今回は最初からついで以上の意気込みで臨みましたよ。やはり今回も細田監督はカッコイイからであって…その分、最終のタイムが分かる映像をもらうのが予定より12分遅れたんだけど（笑）、それくらい本気でやってるみたいですね。そうなるよやっぱり、本気でやってる人には、本気で応えないとね。

## ●音楽構成の構築

音楽を使ったシーンやそのイメージは、いつも通り監督から出してもらって、それをもとに打ち合わせをしました。大幅な変更はありません。全然なかったところを音楽を提案したのは1曲だけ。ジョッパーが海に落ちてしまうシーンのM5B(トラック06)です。曲が始まる位置や切り替わるタイミングを作曲の立場から、より効果的にするように提案する、そういうのは何か所もあります。全体の曲調としては、オーケストラの、やはりこれまでの「ワンピース」同様のテイストで作ってますよ。

ただ今回、作品を象徴するゲストキャラクターを軸に、ストーリーが進む…というわけではない構成だったので、主要テーマをいくつか決めて、という作り方はしていません。オマツリ男爵に対して作った歌なんです。ただ伏線がきて感動に繋がる構成で、効果的に音楽でも盛り上げたいので、ゲストキャラクターのセリフ…というカメッセージに対して、音楽を付けました。「気をつける」とか「仲間だろ」とかね。映画を観てもらえば、分かりますよ。

## ●3人作曲

そして今回、2人の若い作曲家、澤口和彦（注3）君と丸尾隼（注4）君に参加してもらっています。担当分けは、作品の構成と見事にピッタリとハマりました。3人で臨むことで、映像のラテエディンに負けない幅の広い音楽を作り出すことを目指しています。もちろん僕が全体を見てはいますが、2人も優秀ですよ。オープニングでもあるM1(トラック01)は、僕が担当しました。オマツリ島のイメージは、カリフォルニアでもあり、地中海でもあり、ベネチアのような水路もあり、それがスゴく入った場所だと言われまして（笑）。だから音楽もその場面ごとに都合良く変わっています。M1は全量ですのどろりな、リゾートな感じ。もっと落ち着いた大人っぽい響きにしようと思いましたが、絵がもっと熱帯な感じだったのでリズムを強めて、やはり川南のノリになりましたね。

M2(トラック02)で森に入っていくと、サンバが聞こえてくる。その中で地獄の試練・その巻「金魚すくい」ということで、以降ずーっとサンバ主体で。そこはリズムが得意な丸尾君に頼みました。

その次、クロービたちとボートの追っかけあい、地獄の試練・その武「輪投げ」は、細田監督がミュージカルみたいにと言われたので、クラシックオーケストラの編成で作っていくことに。なのでこれは僕が担当。大に書きましたよ！M6(トラック07)からですね。一挙手一投足に対応してるとは言いませんが、ミュージカルなので、激しい動きにも合わせて、激しい音楽が鳴ります。それとシーンやカットの切り替わりに応じて曲調も変わりますので、そういう劇場版ならではの専用の曲が好きなのは、この辺り是非聴いて欲しいですね。もうきっかけが多くて大変なんです。こういうのは、きちんとしたタイムが出るのを待っては、レコーディングまで時間がなくなっちゃいますから。おおまかタイムの時に曲は作っておくんです。それで決定タイムに合わせて仕上げているんですけど、単純な調整じゃ利かないから難しいんですよ。そのきっかけは、当然音楽的なタイミングなんて考えられてませんしね。バズル、すっごいバズルです。ただ最後はキッパリ絵に合わせましたよ、今年も。

地獄の試練・その巻「鉄板焼」は料理対決で、太鼓が打ち鳴らされる中、戦っています。M12(トラック13)からは、澤口君に託しました。絵コンテでは日本の太鼓と、南国の民族楽器も取れる感じで、細田監督からはインドネシア太鼓…なんて言われてね（笑）。ないものは、作るんですよ。和太鼓の周りにジャラジャラしたものを付けて、変わった太鼓の音ね。ミュージシャンは、米米CLUBのサポートメンバーでもあった三沢またろうさん（注5)にお願しました。

地獄の試練はそれぞれ結構な死闘ですが、メニューにはどれも楽しくて書いてある。これは全部、ルフィの気持ちで作りました。何が起ころとも興味津々。何でも面白がってしまうルフィを通すことで、今回のキャッチコピーにもある「笑い」にふさわしい、楽しい楽曲にしました。

# 田中公平 (たなか こうへい)

作曲。『新撰音楽フラッシュマン』『トップをねらえ!』『勇者王ガオガイガー』など数多くの音楽を手掛けたベテラン作曲家。現在まで長く続くシリーズに本作と「サクラ大戦」がある。代表作も「OVERMANキングゲイナー」「かいつぶり!」「砂ぼうず」など数回作を収録。経歴多岐! 【生年、誕生日:2005年2月4日(歳) 山口県シティスタジオ】

## ●花…? 笛!

そして展開はシリアスに。今回、大きな特徴になる音色は、リリーカーネーションに付けた笛ですね。ミュージシャンの旭孝さん（注6）が中国の笛をもとに創作された、オリジナルの変わった笛なんです。細田監督から「この不思議なモノに、音楽でさらに存在感を出してあげませんか」と言われましたんで、考えましたよ。シンセじゃつまんないわね。和楽器の笛も、今やずいぶんメジャーになってますから。それでも何故か出て皆さんに思ってもらえる音色を求めてね、この笛に。また「ワンピース」の劇場版ごとの先何作か重ねた時、この笛の音色が「オマツリ…」の特殊の一つとして残るようなものになるのかなって、そういうものが出来たんです。M17(トラック17)とM20(トラック20)です。

## ●クライマックス!!

M22(トラック22)は、ものスゴく苦しい戦いの曲。これも是非聴いていただきたいですね。他の作品も含めて多くの戦闘テーマを書いていますけど、その中でもなかなかいいのが書けたと思える楽曲が出来ました。やっぱり作品の中でのキモである…その重要性和、動きのダイナミクスが、書かせてくれたんですね。音楽を付ける位置も、変更と延長を提案した所でもあります。なのでここは絶対に私が担当しようという人には相談して、渾身の力で書きました。カッコいい戦いは、2日2夜で激しくスラスラ書けるんですけど、そうではない、苦しさ、もどかしさ、悔しさの戦闘テーマです。僕としても印象的だったんですよ。単独で聴いた時も、一つのテーマで一曲になってますので、聴きやすいと思いますし、今回の代表曲の一つです。

その先、M25(トラック25)は、予告や前半のノリでは予想もなかった凄まじい展開になりますので、現代音楽で書いてもらおうと思って、澤口君に。彼は現代音楽も得意なんですね。

ラストシーンのM27(トラック27)は僕が書いて、ルフィのテーマを、ちょっと香りだけ入れたらして、締めくくりました。3つの試練に、3人3様のテストで取り組んで。ラストに向けて、音楽なんて気にしてられないドラマシアン展開を支えるサウンドを作った。今回もまた特徴的な音楽を作ることが出来たのではないかと感じています。

## ●観ない!絶対後悔するよ!

「オマツリ男爵と秘密の島」は、アニメだけでなく原作を含めても、「ワンピース」の集大成!決定版と言える作品です!! 満足や約束しますから、メリー号に乗ったつもりで安心して、みんな誘って映画館に来て下さい。大スクリーンからハミ出す勢いの妻や海賊団を、フルボリュームの僕らのサウンドと共に楽しみたいと、絶対後悔するよ!

## 注1: 細田監督

細田 守 (ほそだ まもる)。監督・演出。1997年TV「ゲゲゲの鬼太郎」【第4作 194話を初演出。翌年TV「ひびきのアッコちゃん」【第3作】を経て、映画「デジモンアドベンチャー」で初監督を務めた。2002年「おジャ魔女どれみドッカ〜ン!」で40話「どれみと魔女をやめた魔女」他1本、「明日のナージャ」で3本分を演出。TV「ワンピース」で199話「迫る海軍の捜査網! 囚われた二人目!」を手掛け、本作監督に至る。

## 注2: 「デジモン」の映画

細田氏が監督に抜擢され手掛けた「デジモンアドベンチャー」の劇場版。1999年春の東映アニメフェアの一本として上映された短編と、2000年春の東映アニメフェアとして上映された「ぼくらのウォーゲーム」の2本がある。「ぼくらの…」は「ワンピース」劇場第1作と同時に上映であった。

## 注3: 澤口和彦

澤口和彦 (さわぐち かずひこ)。作曲、編曲。田中公平作曲の「ワンピース」キャラクターソング「サルあがりサルページ」を編曲。田中公平と「ガドガード」の音楽を作曲している。

## 注4: 丸尾隼

丸尾 隼 (まるおの りゅう)。作曲、編曲、シンセサイザーオペレーター。「ワンピース」キャラクターソングの編曲も多く手掛けている。田中公平作曲の「RESPECT!」他。同じ田中公平作曲「砂ぼうず」「砂ぼうずの唄」もアレンジしている。

## 注5: 三沢またろう

三沢またろう (ささわ またろう)。パーカッション、コーラス、編曲。高橋真梨子、米米CLUB、福山雅治、甲斐よしひろ、大江千里ら数多くのアーティストのサポートメンバーとして、パーカッション、コーラスを担当。「魔法少女プリティサマー」主題歌の編曲も手掛けている。

## 注6: 旭孝

旭孝 (あさひ たかし)。マルチ音楽者。フルートを中心に、木管を幅広く担当する超ベテランミュージシャン。長年、スタジオ録音に参加しており、アニメーション作品にも膨大な作品数で演奏をしている。また手製の笛を創作し、プレイ以外でも作曲家のイメージに応える。

# キャラクター紹介



**ムチゴロウ**  
草尾 毅




**サンジ**  
平田 広明

**オマツリ男爵**  
大塚 明夫

**ウソップ**  
山口 勝平



**ロロノア・ゾロ**  
中井 和哉



**トニートニー・チョッパー**  
大谷 育江



**モンキー・D・ルフィ**  
田中 真弓

**ナミ**  
岡村 明美

**ニコ・ロビン**  
山口 由里子




**ケロジイ**  
青野 武



# STAFF

音楽：田中公平 & IMAGINE PROJECT

音楽プロデューサー：長澤隆之 (avex inc.)

劇場版監督：福田 守

プロデューサー：松崎容子 (フジテレビジョン)  
清水慎治 (東映アニメーション)  
梅澤淳経 (東映アニメーション)

音楽制作ディレクター：藤田昭徳

A&R・宣伝統括：野崎 淳 (avex mode)  
A&Rチーフ：和義重人 (avex mode)  
A&R：後藤政剛 (avex mode)

宣伝チーフ：久保田泰史 (avex mode)  
宣伝：雄納真佐 (avex mode)

宣伝統括：中山拓也 (avex distribution)  
宣伝チーフ：三浦尚貴 (avex distribution)  
宣伝：小西卓雄 (avex distribution)

楽曲構成・取材：田神 悠

ジャケットデザイン：東映アニメーション 企画営業課デザインルーム  
ジャケットコーディネイト：山崎麻実子 (avex inc.)

音楽制作：斉藤祐二 (イマジン)  
宮真一 (イマジン)

(演奏)  
コンタクト：配島公二  
ストリングス：小池弘之グループ  
ピアノ：松田真人  
クラシックパーカッション：高田みどり  
草刈とも子

トランペット：管楽器演奏グループ  
トロンボーン：松本 浩グループ  
ホルン：藤田乙比古之グループ  
チューバ：佐藤 暁  
フルート：高橋英世  
オーボエ：石崎竜一  
クラリネット：藤野 正  
パーカッション：早川利佐子  
笛：堀 亨  
ラテンパーカッション：三沢きたる  
櫻 智夫  
シンセオペレーター：まるおみのある

# OMATSURIDANSHAKU TO HIMITSU NO SHIMA



ミュージシャンコーディネイト：太田敏明 (ベルベッライン)

レコーディングエンジニア：中村克晴

レコーディングスタジオ：サウンドシティ、プーメランススタジオ  
トラックダウンスタジオ：アッコサウンドプロジェクト

マスタリングスタジオ：avex-studio  
マスタリングエンジニア：小柳公泰

スペシャルサンクス：集英社「週刊少年ジャンプ」編集部  
轟名裕子 (フジパシフィック音楽出版)

劇場版スタッフ  
原作：尾田栄一郎 (「週刊少年ジャンプ」連載)  
監督：福田 守  
企画：清水慎治 / 梅澤淳経  
脚本：伊藤正彦  
音楽：田中公平  
キャラクターデザイン・作画監督：山下高明 / すしお / 久保田 賢  
美術監督：車田運也  
色彩設計：塚田 勇  
制作担当：植原一天

スーパーバイザー：林 寛吾 (avex inc.)  
大下智雄 (avex inc.)

エグゼクティブプロデューサー：松澤義人 (avex group)

協力各社：集英社 / フジテレビジョン / 東映 / 東映アニメーション / バンダイ  
フジパシフィック音楽出版 / 東映アニメーション音楽出版

監修：東映アニメーション  
...and all TONE PIECE staff



avex携帯サイト&PCサイト：URL直接入力 <http://avex.jp/h/>  
または、avex@avex.jpにメールを送信→返信メールからアクセス！(※メイン指定の方は、一時設定を解除して下さい)

【取り扱いのご注意】◆ディスクは高温・乾燥、直射日光、キズ等を付けないように取り扱ってください。◆ディスクが汚れたときは、メガネのような柔らかい布で内側から外側に向かって放射状に軽く取り除いて下さい。レコーダ用クリーニングテープは使用しないで下さい。◆ディスクは高温・高湿、ボールペン、油性ペンなどで文字が書きやすいたり、シール等を貼付してはなりません。又は複製や盗作で権利のメリスは、直接ですら著作権に使用しないで下さい。【複製禁止のご注意】◆複製禁止の旨の表示あり、高画・多量の複製に使用してはなりません。◆ディスクは複製禁止のメリスに付随して印刷されています。◆P・S・M・C・R等のコピーコントロールマークは、複製を防止するために付随しています。◆複製防止マークは、複製を防止するために付随しています。◆複製防止マークは、複製を防止するために付随しています。◆複製防止マークは、複製を防止するために付随しています。

*Omatsuri-ist.*



**OMATSURI DANSHAKU  
TO  
HIMITSU  
NO  
SHIMA  
SOUND TRACK**